

98 ふうせんボート



扱う自然事象	水, 空気
材料	カップめんなどの容器1個, 風船1個, 曲がるストロー (直径6・) 1本
用具	鉛筆, セロハンテープ
つくり方	(1) カップめんの容器に, 鉛筆で穴をあける。 (2) 風船に曲がるストローをさして, 空気がもれないようにセロハンテープを巻く。 (3) 曲がるストローをカップめんの容器の穴にさす。
遊び方	・ ストローの先から息を吹きいれ, 空気がもれないように指でしっかりおさえたまま, 水に浮かべる。手を放すと, 船がスーッと動き出す。

材料の手に入りやすさ 難

つくりやすさ 易

製作時の工夫

- ・ 風船の大きさを変える。
- ・ ふねの材料を変える。(牛乳パック, ペットボトル, ベニヤ板など)
- ・ ストローの太さを変える。

遊び方の工夫

- ・ 風船をふくらます大きさを変える。
- ・ ストローを曲げる向きを変える。
- ・ どこまで進むか距離を競う。

予想される子どもの気付き

- ・ 風船を大きくふくらませると, たくさん進むよ。
- ・ ストローを曲げる向きを変えると, 進む方向が変わるよ。
- ・ カップめんの容器は水に浮かぶよ。
- ・ ふねの材料は軽いものがよいよ。
- ・ 風船が小さくなりながら進むよ。
- ・ 風船が小さくなると, ふねの動きが止まるよ。
- ・ 大きい風船を使うと, 長い間進むよ。
- ・ 風船の中の空気が押し出されて, ふねが進むよ。

製作時間の目安 10分

参考文献

- 1) トモ・ヒコ, 『走る! 動く! あそべる工作』, 主婦の友社, 2006年, pp.36-37
- 2) 米村でんじろう, 『でんじろう先生のカッコいい! 科学おもちゃ』, 主婦の友社, 2009年, pp.56-59